

&lt;学会からのお知らせ&gt;

マテリアルライフ学会  
「第6回マイクロプラスチック シンポジウム」

【会期】2023年12月4日(月)13時00分～17時15分 【会場】オンライン開催

海に流れ出た大量のプラスチックごみが引き起こす環境汚染が世界的な問題になっています。2019年に大阪で開かれたG20首脳会議で、新たな海洋プラスチック汚染を2050年までにゼロにする事を目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が宣言されました。日本政府は、その実現のため「マリーン (MARINE)・イニシアティブ」を立ち上げ、プラスチックの重要性を認識しつつ誤った管理によるプラスチックごみの流出 (Leak) を減らす国際的な取組みを始めました。2022年4月には、プラスチックの資源循環を一層推進していくことを目的に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律 (略称: プラスチック新法)」が施行されました。プラスチックごみ・マイクロプラスチック問題の根本解決には以下の4項目に取り組むことが必要と考えています。

- ① 環境中にプラスチックごみを Leak しない産業構造 (循環型産業) への変革
- ② 環境中に Leak したごみの実態調査とその回収作業・方法
- ③ 環境中に Leak したプラスチックがマイクロプラスチックまで細片化するメカニズム, 分析法や生物に与える影響などの基礎研究
- ④ 環境中へのプラスチックごみの Leak を規制する施策の推進 (ISO, 国内法の整備, 国際的な共同作業など)

マテリアルライフ学会では、劣化やエコマテリアルを専門に扱う学会として、プラスチックごみ問題に取り組んでいる専門家や第一線のマイクロプラスチック研究者を招聘し、最新情報の共有と意見交換を目的として2018年以降毎年マイクロプラスチック・シンポジウムを開催してきました。第1回～第5回シンポジウムでは、プラスチックごみ・マイクロプラスチック問題をわかり易く広報する目的で開催してきましたが、第6回シンポジウムからは少し開催趣旨を変えて、プラスチックごみ・マイクロプラスチック問題を解決する具体策を議論するような場を提供したいと考えています。

これを受けて、マテリアルライフ学会では2023年12月に第6回マイクロプラスチック・シンポジウムを開催します。今回は5名の講演者に、上記に示した4項目について講演していただき議論します。

プラスチックごみやマイクロプラスチック問題に関心をお持ちの方々の参加をお待ちしております。

シンポジウムは、下記の要領で開催します。

水環境学会, 廃棄物資源循環学会, 他

日時: 2023年12月4日(月)13:00~17:15

募集人員: 100名

会場: オンライン開催 (Zoom)

参加費 (予稿集代含む)

予稿集はシンポジウム後の送付となります):

主催: マテリアルライフ学会

マテリアルライフ学会員: 3000円, 協賛団体会員, 講演者所属団体会員: 3000円, 非会員: 6000円

協賛 (予定): 機能性フィルム研究会, 繊維学会, 日本ゴム協会, プラスチック成形加工学会, 色材協会, 日本材料学会, 日本化学会, 高分子学会, 日本建築学会, 特定非営利活動法人最終処分場技術システム研究協会, 公益財団法人日本下水道新技術機構, 日本分析化学会, 日本

申込方法:

申込用紙によるメール, FAX, 郵便による直接申込またはマテリアルライフ学会 HP より

プログラム (敬称略) :

13 時 00 分～13 時 10 分 : 開会挨拶 (黒田真一)

第 I 部 : 座長 佐藤 哲

13 時 10 分～14 時 05 分 : 講演 1

【講演者】群馬大学 : 黒田真一

【演題】 マイクロプラスチック生成の機構・速度の解明  
および模擬マイクロプラスチックの調製

【内容】 演者らは、日化協 LRI 第 7 期から第 9 期の研究において、マイクロプラスチック (MP) 生成機構の解明に取り組んできた。その結果、ポリエチレン (PE)、ポリプロピレン (PP) 等の汎用プラスチックについて、MP 生成機構の概要が明らかになりつつある。第 10 期からは、この MP 生成機構を精緻化・定量化を進めている。さらに、MP の環境や生物に対する暴露リスクを評価するために不可欠な Reference Material としての模擬 MP の調製を行ってきた。本講演では、その概要をお伝えする。

14 時 05 分～15 時 00 分 : 講演 2

【講演者】住化エンバイロメンタルサイエンス : 五十嵐敏郎

【演題】 環境中へのプラスチックごみの Leak 防止について

【内容】 プラスチックごみ・マイクロプラスチック問題

の根本対策は、プラスチックを環境中に Leak しないことであり、管理可能な長期用途を増やすことが鍵になる。ポリエチレンを例に、長期用途製品の開発可能性について述べる。

第 II 部 : 座長 五十嵐敏郎

15 時 10 分～16 時 20 分 : 講演 3

【講演者】全国川ごみネットワーク : 金子 博, 日向治子

【演題】 河川ごみ問題への市民団体の取組みと人工芝問題

【内容】 全国各地の川や湖沼などで、市民団体などがプラスチックごみの回収や啓発活動に取り組んでいる。根本的な解決にはプラスチックの削減を目指す必要もあり、市民団体有志で「全国川ごみネットワーク」を立ち上げた。活動状況を紹介すると共に人工芝問題について提起する。

16 時 20 分～17 時 10 分 : 講演 4

【講演者】コペルニク : 中村俊裕

【演題】 コペルニクの活動について

【内容】 コペルニクは 2010 年インドネシアを本拠地に設立され、社会・環境課題の解決に向けて、様々な実証実験を行っている。本講演では、コペルニクの設立までの背景、活動の変遷、そして近年の廃棄プラスチックに関する活動も紹介する。

----- キリトリセン -----

行事申込用紙

【申込先】マテリアルライフ学会 〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16 (株)ソウブン・ドットコム内 TEL.03-3893-0111 FAX.03-3893-6611 E-mail:mls@kt.rim.or.jp	
参加申込書 (コピー可)	行事名 : マテリアルライフ学会 「第 6 回マイクロプラスチック シンポジウム」 (2023.12.4)
	参加者名 (複数可) 【参加費】 マテリアルライフ学会員 : <input type="checkbox"/> 3,000 円 協賛団体会員, 講演者所属団体会員 : <input type="checkbox"/> 3,000 円 非会員 : <input type="checkbox"/> 6,000 円
	勤務先 TEL. FAX. E-mail :
【送金方法】どちらかを選択し○で囲んでください ①銀行振込 : みずほ銀行 兜町支店 普通口座 1505652 ②郵便振替 : 00120-2-708181 振込予定__月__日 口座名 : マテリアルライフ学会 ※請求書 (要・不要)	連絡先 〒 ----- -----

※参加費の該当箇所を○で囲んで下さい。

↑※連絡先は明瞭にご記入下さい。